



かみのせき 議会だより

2013
1/25

No.121

賀 正

(日の出・1月2日上盛山より撮影)

12月定例議会

議案・認定・報告

一般会計・特別会計の補正予算

防災会議・公民館設置管理条例の一部改正 2～3P

議員提出議案

一般質問（5名が町の取り組みを問う）

委員会視察報告 4～7P

研修報告・編集後記 8P

新年のご挨拶



上関町議会議長
山谷良数

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には常日頃から議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は12月に新政権が誕生しました。課題が山積している状況の中でこれから最も重要な政策は何かについて、与野党が共通認識を持って、政治が行われることを期待するところです。

また、本町は少子高齢化により、ますます人口減少の進む中、国の原動力問題は不透明で、財政状況は一段と厳しくなることとされます。議会といたしましても、時代を見据えた情勢分析に力点を置きながら、効率の良い行政を念頭に、町執行部と互いの知恵を出し合いながら上関町に生まれ育ったことに誇りと自信を持てる「安心して暮らせるまち」を目指していく所存でございます。

今年巳年。「巳」は、蛇が冬眠から覚めて地上に這い出す姿を表し、新たな物事が「起こる」「始まる」の意味があるとされています。今年「新しい物事が始まり成長していく年」になることを期待したいと存じます。

今後とも町民の皆様の更なるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます、迎えました新年が皆様にとって素晴らしい年でありますことをご祈念いたしまして、年頭のご挨拶と致します。

平成24年 第4回定例会

専決処分

可決

一般会計・特別会計補正予算 条例の制定・議員提出議案

24年第4回定例会は12月5日から13日までの9日間の会期で開かれました。

提出議案は、24年度一般会計補正予算に係る専決処分の承認1件、24年度一般会計と特別会計の7会計の歳入歳出補正予算と条例の一部改正が2件で、慎重な審議の結果、原案どおり可決されました。

専決処分

衆議院議員総選挙に係る執行費用について一般会計補正予算に歳入歳出それぞれ550万円を追加し、歳入歳出予算総額を42億6211万1千円とする。

補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ437万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を42億6648万2千円とする。



へき地診療所（祝島）

補正予算の歳入については、個人町民税の増額、障害者更生医療費に係る国・県支出金の増額などで、歳出では山口県知事選挙・海区漁業調整委員会委員選挙に係る執行経費の減額、障害者更生医療費室津漁港（大津）護岸補修の増額が主なもの。

国民健康保険事業特別会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ445万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を6億8156万6千円とする。

介護保険特別会計補正予算は、保険事業勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ891万4千円を追加し、予算総額6億129万8千円とする。

へき地診療所事業特別会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ113万6千円を追加し、予算総額を9692万5千円とする。祝島診療所の医療機器リース料の増額など。

へき地歯科診療所事業特別会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ25万4千円を減額し、予算総額を4319万5千円とする。

簡易水道事業特別会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ44万9千円を追加し、予算総額を1億4490万5千円とする。

航運事業特別会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ281万9千円を減額し、歳入歳出予算総額を3420万1千円とする。

用地取得事業特別会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ0千円を追加し、予算の総額を1億10万円とする。

条例の制定

防災会議条例等の一部を改正する条例の制定について、災害対策基本法の改正に伴い、防災会議条例などの2条例を改正する必要があるため。

公民館の設置および管理等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について、本年度実施の志田集会所建設事業が来年1月に完了予定のため、施設の位置変更などに伴い関

係する3条例を改正するもの。

議員提出議案

○上関町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定。

（提出者）

上関町議会議員

岩木 和美

（賛成者）

上関町議会議員

清水 敏保

佐々木 襄

篠川 源次

西 哲夫

右田 勝

○上関町議会会議規則の一部を改正する規則の制定。

（提出者）

上関町議会議員

岩木 和美

（賛成者）

上関町議会議員

清水 敏保

佐々木 襄

篠川 源次

西 哲夫

右田 勝

ものか。

◆松中生課長
施設入所者増のため、篠川源次議員「四季の里 志田」の名称は一般公募によるものか。

◆松中生課長
地域密着型介護サービス給付費の増は。

◆中司総務課長
原材料は随意契約、工事請負は町内4業者による入札。

◆篠川源次議員
選挙用掲示板、工事請負費は随意契約か。

◆篠川源次議員
選挙用掲示板、工事請負費は随意契約か。

◆篠川源次議員
選挙用掲示板、工事請負費は随意契約か。

◆篠川源次議員
選挙用掲示板、工事請負費は随意契約か。

◆篠川源次議員
選挙用掲示板、工事請負費は随意契約か。



四季の里 志田

◆松中生課長
志田地区の住民による命名。

配付報告

○児童生徒の健全育成にかかわる要望書。

（提出者）

上関町PTA連合会

会長 立畠 達夫

○平成25年度市町予算編成に際しての商工会助成。

（提出者）

山口県商工会連合会

会長 藤村 利夫

一般質問

25年度の予算について

方針・考え方は

答 賃目線に立ち鋭意取り組む



山根 善夫 議員

質問

25年度予算の時期になりました。一般財源の確保が厳しくなる中で後期基本計画、過疎地域自立促進計画で自立のための事業計画が示されています。限られた財源を有効活用するために予算編成にあたり、どの事業を最重要優先と位置づけ、どの事業を軸にした予算編成を考えているのか、また今後の新規事業などについての方針は。

町長答弁

事業を一度リセットして一から見直す。一般財源の確保が年々厳しくなる中、新たな財源確保が至上課題になる。定住対策、生活支援、産業観光振興、教育文化の振興、消防防災の整備を軸に、主要施策の着実な推進や、新規事業の展開を図る。限られた財源の有効活用を鉄則に住民目線に立ち鋭意取り組み町としてできることを、極力予算に反映する。



定住促進住宅造成予定地（室津）

中電埋立延長申請

民意に逆行する行為では

答 評価のしようがない



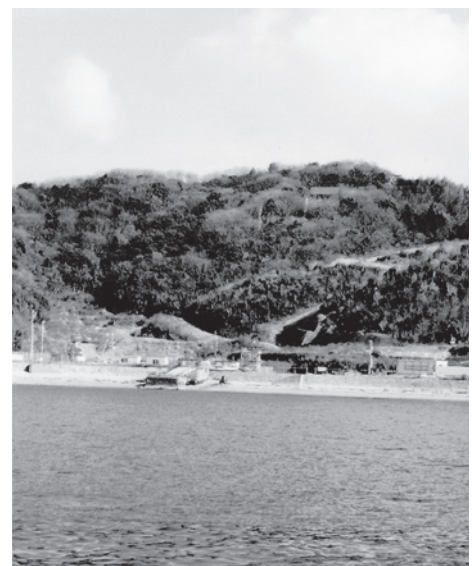
清水 敏保 議員

質問

福島第一原発事故後、一年九ヶ月が経過した今でも、多くの方達の苦しみが続く、事故による後処理は何か一つ解決していない。ところが、中電は期限切れとなる埋立て免許の延長を県に提出した。知事は選挙公約で許可しない方針だったが、結果を先延ばししている。この様な中電、県の姿勢に対する見解は。また、上関原発に関する国から話しはあったのか。

町長答弁

埋立て延長申請の手続等の県や中電の姿勢については、この審査の取り扱い、許認可権限のある県の考えで進めているもので、私としては評価のしようがない。中電については、電力の安定供給は電力会社の責務でもあることから、埋立延長申請を提出したことを何ら否定するものではない。国から話しがきていない。また、今後の予定も示されていない。



埋め立て予定海域（田ノ浦）



祝 開港 地域活性化期待 重点項目・観光

答 明日へとつなげていく可能性がある



嶋尾 忠宏 議員

質問

岩国錦帯橋空港が開港し、経済の活性化も期待しているが本町でも「ふるさと市場」の整備が急がれている。多くの産業に経済波及効果をもたらし飛躍的な成長が見込まれる観光だが、本年度重点項目のひとつに産業観光に向けての組織体制の整備をあげているが、産業観光振興の本年度の取り組みと来年度のお考えは。

町長答弁

本年度、鳩子の湯を軸とし福祉、観光、雇用、地産地消の目的に取り組んできたが、滞在型の観光としては不十分であり、25年度から建設予定のふるさと市場などとのタイアップにより交流の拠点に取り組みたい。温泉と市場と歴史と食の4つのキーワードを「花咲く海の町」というフワッとした感じで包んでいく。そんな癒しの場が上関町にはあると私は思う。



サザンセット PR ポスター すっぴん女子旅

質問

超高齢社会を迎えており、支援を必要とする人が増加している。自主的な健康づくり介護予防、地域包括ケアシステムの充実など重要だが、住み慣れた地域において安心して暮らすには、介護保険サービスの質の確保、向上、特に居宅サービスと考える。民間事業者などサービス主体の積極的な参入を促進し、地域に根ざしたサービス基盤の整備の取り組みは。

住み慣れた地域

安心して暮らせる

答 健康で元気な老後を

町長答弁

高齢者が住み慣れた地域において安心して暮らすことができるための取り組みは、非常に重要であると私も認識している。居宅サービスの重要性を述べられており、私も全く同



元気じゃ脳教室（四代）

感であるが、介護サービスを利用することなく健康で元気な老後を過ごしていただくために、介護予防事業の充実を現在図っている。積極的に事業参入できる民間業者がいれば検討する。

広がる空き家・廃屋に管理条例を

答 空き家等の管理条例は今後の課題としたい



河村 満生 議員

質問

全国的に空き家、廃屋が増加し大きな社会問題となっている。県内でも今年度から萩市、宇部市、下関市、周防大島町などが空き家等の適正管理に関する条例を制定し、管理不全な状態の空き家の問題に取り組んでいる。本町も所有権、財産権などの難問はあるが条例を制定し、危険な廃屋等の問題に取り組んではと思うが、町はどのような考えか。

町長答弁

最終的には条例化することにはやぶさかではないが、この条例は管理不全の空き家について、必要措置を講ずるという勧告や命令等が

できるという「できる規定」からなり、強制力がない。数々の課題もあるので、先進地の制定後の状況等を勉強し、なにが最善方法なのか、今後の課題として検討したい。



解体がまたれる空き家

暴れるイノシシ

鳥獣被害防止対策は

答 増える鳥獣には捕獲が一番

質問

町内では、これまでタヌキやハクビシンなどに畑を荒らされ困っていたが、近年、室津地区、中でも志田や大津に多くのイノシシが出没し、農作物（特にイモ類）を食い荒らし畑をメチャクチャにし、被害は甚大で農家の中には耕作意欲を失う人もいるという。また、人里に現れる被害も出る恐れもあり、町はどのような鳥獣被害防止対策をお考えか。

町長答弁

近隣の市町でも鳥獣被害に苦慮している。増え続ける鳥獣に対しては、今のところ捕獲することが一番だと思うので、町民の方々に箱わな等の狩猟免許を取得してもらい、平生町の猟友会の支援をいただき捕獲することが急務だと思う。また、これらの鳥獣の行動範囲が広いので、近隣市町とも連携を密にして鳥獣被害防止対策を講じたいと思っている。



捕獲されたイノシシ（田布施町）

放課後子ども教室は参加率80・6%で6年目を迎えた。安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域住民との交流活動を推進する事業の趣旨は多くの家庭から支持されている。

しかし、現在は授業日のみの開所で、共働きの家庭などからは児童クラブに対する要望は高まっている。長期的な子育ての支援として放課後児童クラブの導入についての考え

質問



岩木 和美 議員

答

財政的には厳しいが新年度からの実施を考えている

放課後児童クラブの実施について

町長答弁

現在実施している放課後子ども教室を拡充し、長期休業中にも開所すれば参加対象者の幅が広がり、子育て支援に効果があると思われる。財政的には非常に厳しい状況にある

が、若者定住策の一環として、できれば新年度から実施したいと考えている。そのために関連する部署に財源を含め人材の確保や必要条件の整備をするよう指示をしている。



クリスマス会（放課後子ども教室）



農水産物直売所（呼子町）

早朝より日本三大朝市の一つと呼ばれている呼子町の朝市を視察しました。市場は朝市通りと名づけられ、200m程の通りの左右に、平日は30〜40、土日は40〜50店の出店があるそうです。しかしイカ漁の減少、あるいは高齢化等で出店者の

数は減少傾向にあるそうです。イカを主体に鮮魚、干物、野菜、果物、生花等を販売しているおばちゃん達の話も楽しく、結構にぎわっており、本町のふるさと市場建設にむけて参考になる点多々ありました。

11月
6・7日

佐賀県

産業厚生委員会委員長

右田 勝



村上水軍博物館（今治市宮窪町）

初めに牛窓町の朝鮮通信使関係の資料などを展示の海遊文化館で、観光協会事務局長や郷土史家やガイドらによる観光ボランティア活動状況や展示資料の説明を受けた後、朝鮮通信使ゆかりの本蓮寺や町並みなど案内状況を視察した。次に、

高知市に移り、三百年続く高知城下の街路市（露天市場）の観光客の集客状況を視察した後、宮窪町の村上水軍博物館を訪問し、館長や学芸員による施設の管理状況や展示物の説明を受けた。今回の視察を今後の観光振興に活用できたらと思う。

10月
20・21日

岡山県・高知県・愛媛県

総務文教委員会委員長

篠川 源次

視察報告

研修報告

9月27日、自治研修会が山口市において「揺れ動く政局・政治情勢」と題し、田崎史郎講師（時事通信社解説委員）を招き、政権与党の不安定な党内事情と解散時期の予測、政治のありかた等について講演いただき参考になりました。



田崎史郎講師
自治研修（山口市）

10月26日、熊毛郡町議会議員合同研修大会が田布施町において「山口県の道路整備」について藤山一郎課長（県土木建築部道路建設課）を講師に招き道路整備をめぐる最近の動向について説明を受けました。

より一層の効率的執行、創意工夫が求められます。本町の主要な道路事業は幅員狭小・線形不良個所の解消を目的に長島工区・赤石工区・蒲井工区の3カ所が施工されています。各町県道改良の要請は多くあるが予算が減少しており、即応は厳しいとのことでした。

10月12日、熊毛郡町議会広報研修会が田布施町において「議会だよりの編集」について高川喜彦田布施町広報委員長の経験に基づいた講話の後、3町の広報委員で他町の「議会だよりの参考意見交換を行いました。編集作業への取り組みの指摘もなされ親睦も深まる研修会でした。



熊毛郡町議会広報研修（田布施町）

地域ビジョン検討会

地域ビジョン検討会とは、原子力発電関連交付金が見込めなくなった場合も想定し、町の財政状況や将来像について執行部と議員が共通認識を持つことを目的とし第1回目を23年11月22日に開会し、24年12月20日に第7回目の検討会を行いました。

これまで検討会では、財政状況は大変厳しくなるばかりで、町が計画している事業（ハード・ソフト）も計画通り進めることは困難で事業の見直し、縮小、中止、効率化を考えた政策が求められますが、財源は厳しくても計画通り取り組む必要な事業もあり、次の検討会（3月）で方向づけはできるものと考えています。

編集後記

平成25年の新春にあたり謹んでご挨拶申し上げます。昨年末の選挙を経て発足した新たな政権には強いリーダーシップによる「決める政治」のもと、政策を断行してほしいと願います。長年にわたり積み残してきた課題に勇気をもって切り込み、将来的な上関町発展の基盤を再構築しなければなりません。絶え間ない「イノベーション」への挑戦により、閉塞感を打破し、町独自の持続可能な地域社会の実現を果たすため、本年も皆様とともに前進していく決意であります。

委員特別聴取会

委員長 西 哲夫
副委員長 嶋尾 忠宏
委員 岩木 和美
海下竜一郎
河村 満生
山根 善夫

■上関町議会議長 山谷 良数

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

■印刷所／中村印刷株式会社